

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 12 日

上場会社名 株式会社 バイテック

（コード番号：9957 東証第2部）

（URL <http://www.vitec.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職名 代表取締役社長 氏名 白井 舜一 （TEL: (03) 3458 4611）
責任者役職名 取締役 氏名 成瀬 達一

平成 16 年 3 月期第 3 四半期(平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日まで)における業績の概要について下記のとおりお知らせ致します。なお、当社は四半期財務情報を平成 16 年 3 月期第 1 四半期より作成しているため、前年同期についての記載は行っていません。

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
(内容) 連結(新規) 1 社

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16 年 3 月期第 3 四半期	93,677	1,390	1,118	442
15 年 3 月期第 3 四半期				
(参考)15 年 3 月期	101,055	1,042	524	3,246

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	37 54	28 43
15 年 3 月期第 3 四半期		
(参考)15 年 3 月期	275 37	

〔経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期(平成 15 年 4 月~平成 15 年 12 月)におけるわが国経済は、上半期はイラク問題等を抱える米国経済の影響を受け厳しい状況でありましたが、下半期以降、企業の業況感が改善し、設備投資が増加するなど、緩やかに回復しつつあります。

このような状況の中にあつて、当社が関連するエレクトロニクス・情報通信の分野では、デジタルカメラ、DVDレコーダー、薄型テレビの「新・三種の神器」に代表されるデジタル家電市場が拡大してまいりました。まず、デジタルカメラは、海外市場で、欧州やアジア向けに需要の拡大が続いたのに加えて、国内市場でも買い替えの需要が高まるなど、世界的なブームとなり活況を呈しております。次に、DVDプレーヤー・レコーダーでは、国内出荷台数が初めてVTRを抜いて過去最高を記録するなど格段にシェアを伸ばしております。さらに薄型テレビ市場では、液晶やプラズマパネルの台頭によりブラウン管テレビを凌駕する勢いで急成長を遂げてきております。また、携帯電話市場についても、2008年には世界の携帯電話加入者が現在の約1.7倍の20億人に達するという見通しが出るほど市場の拡大は続いております。その上、伸び悩みが続いていたパソコン市場でも2年半ぶりに出荷台数がプラスに転じるなど需要が回復してきております。

このような経営環境の中で、当社では世界的なデジタル家電景気に乗り、デジタルスチルカメラ(DSC)、デジタルビデオカメラ(DVC)などにキーデバイスとして搭載される、CCD(電荷結合素子)及びLCD(液晶表示装置)を中心に売上が急拡大しました。また、中国市場向けの携帯電話やPHS用に使用されるMMIC(モノリシックマイクロ波集積回路)が大幅な伸びを示しました。その他では、携帯電話やDVDプレーヤー向けのDRAM(記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しメモリー)が堅調に推移しました。

その結果、当第 3 四半期の連結売上高は 93,677 百万円、経常利益は 1,118 百万円、当期純利益は 442 百万円となりました。

なお、当社が取り扱う半導体商品は、今後も需要拡大が見込まれているDVDプレーヤー、薄型テレビ、携帯電話や、欧州、アジア向けに需要の伸びが続くと見られるデジタルカメラなどを背景に好調な販売が継続するものと見込んでおります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
16年3月期第3四半期	46,342 ^{百万円}	3,820 ^{百万円}	8.2%	324 ^円 95 ^銭
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	47,617	3,409	7.2	289 23

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
16年3月期第3四半期	145 ^{百万円}	514 ^{百万円}	2,261 ^{百万円}	1,867 ^{百万円}
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	703	2,012	2,628	3,432

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,867百万円となり、前連結会計年度に比べて1,565百万円減少しました。これは財務体質の改善を図るため、有利子負債の削減を優先させているためです。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は145百万円となりました。これは主に売上増加に伴う運転資金の増加を必要最小限に抑えたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は514百万円となりました。これは主に貸付金の回収によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務体質の改善を図るため、有利子負債の削減に努めました結果、2,261百万円の減少となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年3月期第3四半期	73,593 ^{百万円}	1,301 ^{百万円}	1,220 ^{百万円}	609 ^{百万円}

	総資産	株主資本
16年3月期第3四半期	40,045 ^{百万円}	6,622 ^{百万円}

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	123,000	1,600	700	59 47

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

業績予想につきましては、連結・個別とも平成 15 年 11 月 13 日の決算発表時に公表しました数値の修正は行いません。

(参考 2) 平成 16 年 3 月期の個別業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
				円 銭	円 銭	円 銭
通 期	97,000	1,550	650	10 00	10 00	10 00

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上

添付資料

- ・ 四半期連結（要約）貸借対照表
- ・ 四半期連結（要約）損益計算書
- ・ 四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書
- ・ セグメント情報

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結第3四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
1.現金及び預金	2,017		3,582	
2.受取手形及び売掛金	30,707		29,552	
3.たな卸資産	6,335		5,518	
4.その他	3,647		5,241	
5.貸倒引当金	6,802		7,356	
流動資産合計	35,906	77.5	36,538	76.7
固定資産				
1.有形固定資産	6,123		6,581	
2.無形固定資産	589		654	
3.投資その他資産				
(1)投資有価証券	1,736		1,758	
(2)その他	2,700		2,266	
(3)貸倒引当金	714		182	
投資その他の資産合計	3,723		3,842	
固定資産合計	10,436	22.5	11,078	23.3
資産合計	46,342	100.0	47,617	100.0

(単位：百万円)

科 目	当連結第3四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
・流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	21,348		20,132	
2. 短期借入金	11,304		13,143	
3. 一年内償還予定社債	300		300	
4. 一年内返済予定長期借入金	1,669		852	
5. 賞与引当金	86		192	
6. その他	665		709	
流動負債合計	35,374	76.4	35,330	74.2
・固定資産				
1. 社 債	1,050		1,200	
2. 転換社債	4,780		4,956	
3. 長期借入金	650		2,120	
4. 退職給付引当金	79		39	
5. 役員退職慰労引当金	134		-	
6. その他	454		560	
固定負債合計	7,148	15.4	8,876	18.6
負債合計	42,523	91.8	44,207	92.8
(少数株主持分)				
少数株主持分	-		-	
(資本の部)				
・資 本 金	4,325	9.3	4,325	9.1
・資本剰余金	1,520	3.3	4,137	8.7
・利益剰余金	1,809	3.9	4,857	10.2
・その他有価証券評価差額金	160	0.3	167	0.3
・為替換算調整勘定	23	0.1	25	0.1
・自己株式	32	0.1	3	0.0
資本合計	3,820	8.2	3,409	7.2
負債、少数株主持分及び資本合計	46,342	100.0	47,617	100.0

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
・売上高	93,677	100.0	101,055	100.0
・売上原価	88,896	94.9	95,090	94.1
・売上総利益	4,780	5.1	5,965	5.9
・販売費及び一般管理費	3,390	3.6	4,922	4.9
営業利益	1,390	1.5	1,042	1.0
・営業外収益	307	0.3	585	0.6
・営業外費用	579	0.6	1,103	1.1
経常利益	1,118	1.2	524	0.5
・特別利益	18	0.0	6	0.0
・特別損失	445	0.5	3,384	3.3
税金等調整前四半期純利益又は当期純損失	692	0.7	2,853	2.8
法人税等	249	0.2	431	0.4
少数株主損失			38	0.0
四半期純利益又は当期純損失	442	0.5	3,246	3.2

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当連結第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は当期純損失		692	2,853
減価償却費		523	670
貸倒引当金の増減額		23	3,003
受取利息及び受取配当金		64	152
支払利息		264	352
売上債権の増減額		2,329	950
たな卸資産の増減額		910	1,195
仕入債務の増減額		1,623	1,518
その他の		702	649
小計		478	997
利息及び配当金の受取額		64	228
利息の支払額		258	368
法人税等の支払額		138	153
営業活動によるキャッシュ・フロー		145	703
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		63	502
無形固定資産の取得による支出		81	143
投資有価証券の取得による支出		5	404
その他の		665	960
投資活動によるキャッシュ・フロー		514	2,012
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の減少額		1,279	4,440
長期借入れによる収入			1,000
長期借入金の返済による支出		654	652
社債の償還による支出		326	1,468
その他の		1	3
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,261	2,628
現金及び現金同等物に係る換算差額		6	41
現金及び現金同等物の減少額		1,607	3,978
現金及び現金同等物の期首残高		3,432	7,410
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額		42	
現金及び現金同等物の期末残高		1,867	3,432

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度（自平成 14 年 4 月 1 日至平成 15 年 3 月 31 日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高および営業利益の金額とも全セグメントの 90% 超となっております。
このため事業の種類別セグメント情報の記載の省略をしております。

第 3 四半期連結会計年度（自平成 15 年 4 月 1 日至平成 15 年 12 月 31 日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高および営業利益の金額とも全セグメントの 90% 超となっております。
このため事業の種類別セグメント情報の記載の省略をしております。

【所在地別セグメント情報】

最近 2 連結会計年度の所在地別セグメント情報は次のとおりであります。

前連結会計年度（自平成 14 年 4 月 1 日至平成 15 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	日本	アジア	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	83,057	17,998	101,055		101,055
(2)セグメント間の内部売上高	4,209	2,465	6,675	(6,675)	
計	87,267	20,463	107,730	(6,675)	101,055
営業費用	86,384	20,314	106,699	(6,686)	100,012
営業利益	882	149	1,031	10	1,042

（注）1．地域は、地理的近接度により区別しております。

2．地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

当連結第 3 四半期（自平成 15 年 4 月 1 日至平成 15 年 12 月 31 日）（単位：百万円）

	日本	アジア	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	79,145	14,531	93,677		93,677
(2)セグメント間の内部売上高	2,678	1,473	4,152	(4,152)	
計	81,824	16,004	97,829	(4,152)	93,677
営業費用	80,615	15,823	96,438	(4,152)	92,286
営業利益	1,209	181	1,390		1,390

（注）1．地域は、地理的近接度により区別しております。

2．地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

【海外売上高】

最近2連結会計年度の海外売上高および連結売上高に占める海外売上高の割合は次のとおりであります。

前連結会計年度（自平成14年4月1日至平成15年3月31日）（単位：百万円）

	アジア	その他	計
・ 海外売上高	16,949	1,111	18,060
・ 連結売上高			101,055
・ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.8	1.1	17.9

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区別しております。

2. 地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

その他・・・米国他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当連結第3四半期（自平成15年4月1日至平成15年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	その他	計
・ 海外売上高	14,089	575	14,664
・ 連結売上高			93,677
・ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.0	0.6	15.6

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区別しております。

2. 地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

その他・・・米国他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。